

令和元年度

租税教育実践発表会資料



東松島市立矢本第二中学校

教諭 松川 宏

1 はじめに

租税は、国家や地方公共団体が国費・公費にあてるため、国民や住民から強制的に徴収する金銭のことである。そして、日本国憲法第30条では、「国民は、法律の定めるところにより、納税の義務を負う。」と納税の義務について規定している。同条は国民に納税の義務を課したもものとして国家による徴税の根拠となっている。

学習指導要領では、「租税の意義と役割」の取扱いとして、「統計資料などを有効に活用しながら租税の大まかな仕組みやその特徴にも触れ、国民生活に大きな影響力をもつ財政を支える租税の意義や税制度の在り方について考えさせる。」としている。また、「国民の納税の義務」については、国民が納税の義務を果たすことの大切さを理解させるとともに、税の負担者として租税の使いみちなどについて理解と関心を深めさせるなど納税者としての自覚を養うことが重要である」と示している。

今回の学習指導では、そうした租税について、その必要性や種類などについて学習し、関心を高めたい。さらに、少子高齢社会における社会保障とその財源の確保の問題をどのように解決していったらよいか、税の負担者として自分の将来と関わらせて考えさせたい。

2 生徒の実態

本学級は、第3学年の男子14名、女子14名、計28名の学級である。男女の仲もよく、班活動もスムーズに行うことができる。今回、租税についての授業を展開するにあたり、その関心・意欲を高めるために、7月に税務署から講師の先生を招き、3学年全生徒を対象に租税教室を実施した。そのことを踏まえた上で事前調査を実施した結果は、次の通りであった。

- 1 租税教室についてどう思いましたか。
 - ・税のことがわかった(10人) ・税のことがなんとなくわかった(12人)
 - ・よくわからなかった(5人)
- 2 税金の種類について知っているものはありますか。
 - ・消費税(27人) ・関税(5人) ・自動車税(2人) ・所得税(1人)
- 3 税金は何に使われていると思うか。
 - ・学校や道路などをつくるため(8人) ・警察や消防(5人)
 - ・国のため(5人) ・無回答、わからない(9人)

租税教室を通して、税金について基礎的な知識を習得することができた生徒も多く、税金についての関心を高めるきっかけになったと考えられる。しかし、税の種類やその徴収目的については、知識を高める必要があると考える。

3 指導にあたって

間近に迫った消費税増税に対する生徒の関心は高い。その是非を問いかけることで、租税についての理解を深めたいと考える。また、租税の意義を学習することにより、税制度の在り方や、税の負担者としての税の使い道に関心を持たせ、国民生活と福祉の向上を図

るために、国や地方公共団体が果たしている経済的な役割について考えさせたい。

現在、少子高齢化にともなう社会保障費の増大は、我が国にとって深刻な問題となっている。そのような状況の中、租税はどのように変わっていくのかについても考えさせていきたい。

これらの学習を効率良く進めるために、宮城県租税教育推進協議会の「私たちの暮らしと税」を資料として用いたい。この資料は、本時で学習する事項が大きく掲載されており、生徒の理解を助けるものとする。

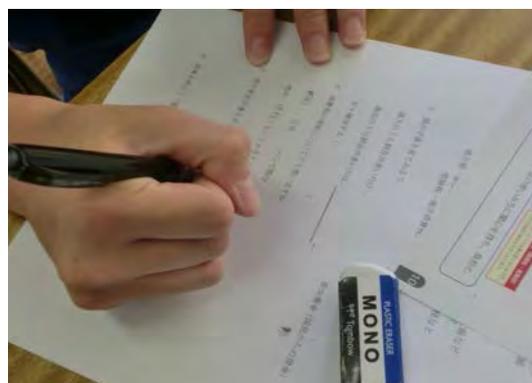
4 指導計画（2時間扱い）

時間	学習内容	主な学習活動
1	租税とは何か （租税教室） 7月9日 石巻税務署より講師を招いて3学年全員で受講	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちの生活の様々な場面で使われている税金  <ul style="list-style-type: none"> ・もしも税金がなかったら（DVD） ・少子高齢化にともなう課題  <ul style="list-style-type: none"> ・1億円の重さを体験 

1 (本時 1 / 1)	租税について考える	<ul style="list-style-type: none"> ・租税の役割 ・税金の種類と仕組み ・消費税増税の必要性
-----------------	-----------	--

5 学習過程

段階	学習活動	形態	教師の支援及び指導上の留意点
導入 10分	○ 75,000円あったら どうする？	一斉	<ul style="list-style-type: none"> ・消費税増税にともない、家庭では年間75,000円の負担が増すことを知る。
	○ 本時の学習内容を知る	一斉	
消費税増税について考える			
	○ 租税教室の振り返り ・ 税金を徴収する目的		<ul style="list-style-type: none"> ・ 「暮らしと税」 p 1 ・ 資料集 p 118で「税金がなかったら」ということに触れる。
展開 35分	① 主な税金	一斉	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「暮らしと税」 p 2 ・ 累進課税について触れる。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">② 消費税増税に賛成か</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 考えを書く 	一斉	<ul style="list-style-type: none"> ・ 理由も含めて考えさせる。 ・ 「暮らしと税」 p 5, p 9を活用させたい。
	・ グループで話し合う	班	<ul style="list-style-type: none"> ・ 役割分担を事前に指示しておく。



	<ul style="list-style-type: none"> ・ 班ごとの意見発表 	班	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他の班の意見を聞き、メモをとらせながら考えを深めさせたい。
	③日本の財政	一斉	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「暮らしと税」 p 5 ・ 公債について補説する。
	④少子高齢化と社会保障費	一斉	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「暮らしと税」 p 9 ・ グラフから増大する社会保障費に気付かせたい。
<p>終結 5分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○消費増税の目的 <ul style="list-style-type: none"> ・ 使い道は社会保障費 ・ 毎年 5,000 億円増加する社会保障費 ○世界の消費税 	一斉	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「暮らしと税」 p 10



6 学習を終えて（生徒の感想）

- ・ 税金について、いろいろと考えるいい機会になりました。これから消費税が10%になり、最初の方は混乱すると思いますが、仕組みを知って早く慣れていきたいです。
- ・ 税金は、私たちの暮らしの中で、生活しやすいように使われていることが分かった。また、税金の増税についていろいろな意見があり、おもしろかった。
- ・ 税金のことについて考えるのは難しいと思ったけど、やっぱり自分の買い物の負担が増えるのは嫌だと思いました。でも、今回の増税も社会保障のためなので、今のおじいちゃん、おばあちゃんにも長生きしてほしいから、増税は仕方がないと思います。
- ・ 消費税の増税について、どうでもいいかなと思ってたけど、真剣に考えてみると、疑問や「いいな」と思うところとかもあって、もっと国のやることに興味を持ってみようかなと思いました。
- ・ 自分の国の税金なのにどんな税金の種類があるのか分からなかったけど、今回の授業で少しでも知ることができてよかったです。

消費税増税について考える

氏名： _____

1 税金はなぜ必要か

国・地方公共団体（都道府県・市町村） → (_____) (_____)
教育施設・道路 ゴミ収集・警察

2 税金の種類

() 税… () 税… (_____) 税，法人税など

() 税… () 税，関税など

地方税…直接税…県民税，自動車税など

間接税…地方消費税，入湯税など

3 国の予算を見てみよう

歳入のうち割合が多いのは…

※公債金（国民からの借金）

歳出のうち割合が多いのは… _____ ←

年々増加する ()

4 消費税の増税についてどう思いますか

賛成 反対 ←○で囲む

理由…

5 班の意見を書きましょう

6 他の班の意見

7 授業を終えて（感想）